

事業名 科博コラボ・ミュージアム in 糸魚川
「糸魚川は大地のワンダーランド」

実施主体 糸魚川市博物館・国立科学博物館

参加対象 一般市民

参加者数 延べ 87人 (大人74人 子ども13人)

回数 2回 日数 2日 時間 6時間

場所 フォッサマグナミュージアム, 青海川の硬玉産地 (青海川橋立)

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	11月10日 (土) 13:30~16:00	国立科学博物館と糸魚川 新鉱物と糸魚川 ジオパーク糸魚川 恐竜の話	松原聰 (国立科学博物館 地学研究部長) 真鍋真 (同研究主幹) 宮島 宏 (糸魚川市博物 館館長補佐)
	内容・ 方法	<input type="checkbox"/> 国立科学博物館と糸魚川のこれまでの関わりの紹介 (パソコン, パワーポイント) <input type="checkbox"/> 糸魚川から発見された新鉱物の紹介 (パソコン, パワーポイント) <input type="checkbox"/> 糸魚川にある多数の貴重な地質遺産の紹介 (パソコン, キーノート) <input type="checkbox"/> さまざまな恐竜の最新の話 (パソコン, パワーポイント)	
2	11月11日 (日) 8:30~12:00	青海川の硬玉産地の巨大ひすい輝石岩の観察 青海川の河床の重鉱物, 特に砂金の観察	松原聰 (国立科学博物館 地学研究部長) 宮島 宏 (糸魚川市博物 館館長補佐)
	内容・ 方法	<input type="checkbox"/> 現地でひすい (ひすい輝石岩) の地質学的な意義の説明 (口頭) <input type="checkbox"/> 青海川のひすい峡の発見の歴史の紹介 (口頭) <input type="checkbox"/> 川砂に含まれる重鉱物の観察 (実演)	

成果 ・ 国立科学博物館から記載鉱物学の権威である松原聰博士と、恐竜の著名な研究者である真鍋真博士を招き、最新の情報を平易に映像を多数用いて解説していただいた。恐竜がテーマの一つになっていたことから、いつもよりも小学生の参加が多く、活発な質問があった。

課題 ・ 鉱物や恐竜の著名な講師による講演会であったため、小学生だけでなく中高校生の参加があることを期待していたが、残念ながら参加は皆無であった。当市における中高校生の自然科学への興味がきわめて希薄であることの現れであり、学力低下とも関連するものであろう。学校とも連携し子どもたちの自然科学への興味増進を図る必要がある。

問合せ先 フォッサマグナミュージアム (担当 宮島 宏)

TEL 025-553-1880